

第4次山形県環境計画【中間見直し版】の策定に当たって

私たちを取り巻く環境は日々大きく変化しており、地球温暖化による気候変動の影響と考えられる異常気象や自然災害の激甚化・頻発化、生態系の変化など地球規模の環境問題が、私たちの住む山形県においても、深刻化してきております。

このような課題に対応し、「持続的発展が可能な豊かで美しい山形県」を実現するために、令和3年3月に「第4次山形県環境計画」を策定いたしました。これまでの計画に基づく取組みの推進により、持続可能な社会をけん引する人づくりや、生物多様性を守り活かす自然共生社会の構築、良好な大気・水環境の確保などにおいて、着実に前進してまいりました。

また、「ゼロカーボンやまがた2050」宣言を号令に、2050年までに温室効果ガス実質排出ゼロを目指した取組みを進めてきた一方で、計画策定から5年が経ち、その間に脱炭素社会の実現へ向けて、全国的にGX（グリーン・トランスフォーメーション）の取組みが加速しており、本県でも積極的に取り入れていく必要があります。

この他、エネルギー価格の高騰や、循環経済移行への社会的要請、クマをはじめとする野生鳥獣による被害の拡大等の課題についても更なる取組みが必要です。

こうした環境をめぐる状況の変化に対応して、より実効性のある取組みを推進するため、中間見直しを行いました。

この豊かな自然をはじめとする山形の魅力を守り、活かしながら、現在及び将来の県民がウェルビーイングを実感できるよう、引き続きみんなで“グリーンやまがた”を創ってまいりましょう。

令和8年3月

山形県知事 吉 村 美栄子

